

■合格体験記・・・合格番号を見たとき

嬉しさよりも先ずホッとしました。その後に自分を信じて続けてきた努力がやっと報われたと思いました。そして、家族、応援してくれた人たち、お世話になった山下先生の顔が思い浮かび、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

★選択式：34点・択一式：46点

■受験回数は5回（勉強期間：4年7ヶ月）

1回目2回目3回目：他校（通学）、4回目/5回目：LEC 上級コース水道橋休日山下先生クラス

山下先生に早く出会えていれば、もっと早く合格できていたと思います。

■5回目の受験を決めたとき、現実（合格点が取れないこと）を直視し、自分の考え方を变えるのに苦労しました。→同じことを繰り返していても違う結果（合格）を出すことは難しいと実感し、これまでの試験結果の分析と勉強の仕方の見直しを行い、自分が受かるために本当に必要なことは何かを徹底的に考えました。何ができて、何ができないのか、「点数を取り、合格する」ために何をするかを考えました。一番考え方を变えようと思ったのは、「素直に山下先生に言われたことを実践する」ということでした。分かっていたつもりでも、冷静に自分の行動を振り返ると実践できていないことが多々ありました。お金と時間をかけて教を受けているのに言われたことを実践しないのは、本気になっていないことと同じだと思いました。

■そしてやはり最大の困難は試験本番の当日を乗り越えることでした。

→試験会場での異様な雰囲気と緊張感の中で何とか全力を振り絞りました。

選択式も択一式も試験開始後、すぐに問題全体に目をとおしてから、解いていく科目の順番や後回しにする問題を決めて対応したので、焦ることはなかったのですが、どうしても思い出せないことやちょっとした思い違いをしてしまうこともあり、多くの問題で悩みました。一度飛ばしてから最後に戻った問題など、悩んだ2肢の最終的な判断をするときは、何度も何度も山下先生の講義でのお話しと言葉を思い浮かべました。

「満点よりも合格点」「最後の最後までみんな頑張れ！（ラスト1ヶ月の過ごし方の最後のページの言葉）」という言葉が背中を押してくれました。

その度に「諦めてたまるか！しがみついても今回で決める」と思いました。

（時間内には何とか終わると思い、いわゆる「エイヤー」はしませんでした）

もともと解答スピードが早い方ではなかったのですが、結局試験当日は、全ての問題を解き終わったのは、午前の選択式は終了5分前、午後の択一式は終了15分前位でした。択一式は見直しの途中でマークミスをもと修正したため、最後の方はマーク漏れがないくらいしか確認できませんでした。それでも試験が終わったとき、自分で出した答えは信じるしかないと割り切りました。

見直しの時間がほとんど取れなかったのは自分でも想定外で、時間配分としては失敗でしたが、理想的な試合運び（時間配分）にならなかったとしても、最後の最後まで諦めずに、あがいても1点をもぎ取るという気持ちが合格につながったのだと思います。

★各科目について

- ・嫌いな科目：労災、社一
- ・得意な科目：労基、健保、国年
- ・合格を助けてくれた科目：徴収法→択一で労災1点、徴収法3点で基準点4点を死守できま

した。まさに山下先生の格言「I Love 徴収法。」でした。

★勉強時間と工夫

- ・平日 朝：1～2時間、昼 30分～45分、夜 1.5時間～3時間
- ・休日 8時間～10時間（直前期 12時間）

現実的に勉強できる時間を確保するために、仕事が忙しい日、勉強に集中できる日、体調が優れない日など、勉強する時間と場所のパターンをいくつか決めておいて、状況に応じて使い分けました。勉強する場所は、朝は会社のラウンジか会社近くの喫茶店、昼は会社のラウンジ、夜はLECの自習室か地元の喫茶店、休日はLECの自習室でした。

基本的に自宅は休む場所と決めておき、テキストの補正や授業で分からなかったところをWEB講義でフォローする以外は、なるべく外で勉強しました。

通勤時間が短いこともあり、通勤や通学中の電車の中は、テキストの上下に選択式を意識して書いた数字と用語（通称「上ポン下ポン」）を思い出すことだけに集中していました。

勉強する時間と場所のパターンを決めておくことで、日々の勉強する段取り時間が減らせたと思います。

★仕事との関係

人事関連部門に所属しているため、業務に直結しています。

★山下先生の講義

とにかく「合格」という目標に向かったルールを敷いて、我々をけん引してくださる講義でした。必要な時期に必要な適確なアドバイスを都度していただきました。山下先生の法律条文の番号を意識して進められる講義は、とても理解が深まりました。そして、笑いあり、涙あり、熱意と愛情に溢れる深い講義でした。

★直前おすすめ道場

山下先生の道場の「試験にでる123」、「重要事項100の法則」は、必ず受講されることをおすすめします。この2講座を受講すれば、試験問題の捉え方が分かり、「解答力」が間違いなく上がります。

（受講されれば、これまで多くの方が絶賛されている意味が分かると思います）

また、前日のヤマカケ講座「最後の最後で3点アップ」は、超おすすめです。

山下先生の経験と分析に裏付けられたヤマカケは凄かったです。試験本番で「昨日の講義で解いたという」問題が何問もありました。

★受講生へのアドバイス（上からではなく、横から目線です）

- ・試験本番の当日を常にイメージする。

→どうやって合格するのか？を常にイメージしておくことが大切だと思います。

選択式、択一式の各科目や出題テーマごとに試験本番で点数を取る戦略を立てて、日々の勉強を進めることが重要だと思います。

また、GWくらいから毎週末の過ごし方も試験当日に近いものをイメージしておく方が良いかと思います。（朝起きる時間や午前/午後の勉強内容、昼食を軽く済ませること、等々）

模試や日々の勉強の中で、快適でない環境（人が多かったり、机が狭かったり等）でも集中して問題が解くことに慣れておくことなども経験しておいた方が良いと思います。

（試験本番の当日には、とにかく集中して問題だけに向き合えるように自分を鍛えておくことです）

- ・やらないことを決める。

→無駄の排除（余計なことに時間や労力を使わない）が大切だと思います。（やるべきことは、山下先生が教えてくれます）私が決めたのは、過去の反省を含め、以下のようなことでした。

- テキストやノートをきれいにまとめることにこだわらない。(使うものと割り切る)
- 文房具とかにこだわらない。(道具を選ぶなら最初に決めて使い続ける)
- 他校の模試や教材など手を広げない。(他からの情報に左右されない)
- 「それって合格に必要なこと？」と自問自答して、不要と思うことはしない。
- ・合格のために必要なことは勉強以外にも意識を向ける。

→試験本番の当日に最大のパフォーマンスを出すには、気力/体力も充実させておく必要があると思います。私は集中力を上げるため、週末1時間定期的にジムでトレーニングをして、心身を鍛えるようにしていました。定期的に運動をした方が、体調も安定し、勉強の効率もあがると思います。

最後になりますが、「自分を信じること」が何よりも大切だと思います。皆様ひとりひとりの合格に向かって頑張ってください。